

灘校文化祭2022

競技かるた

ほしはな
ひのかさ
けるにむ
にか

なかれもあ
へぬもあ
なりけり
みち

みたれそめ
にしわれな
たなくに

こがきしと
きこあきは
かなしき

ひるはきえ
つつものを
こたおもへ

やせふふめ
しかりあは
らけかな

からくれな
おにみつく
くるとは

きりたちの
ほるあきの
ゆふくれ

もみちの
しきかみの
まにまに

灘校古典文化同好会かるた班

目 次

はじめに	1
第 1 部 競技かるたとは.....	2
第 2 部 競技かるたの試合.....	3
第 3 部 競技かるた用語解説.....	5
第 4 部 かるた甲子園参戦記.....	7
第 5 部 平安と平成の桜の歌.....	13
おわりに.....	18

は じ め に

この度は、古典文化同好会のコーナーに
お越しいただき、ありがとうございます。

今年は少しでも来てくれる方を増やそうと
桜の押し花を使った栞を作ってみました、
桜に関して気になったことも調べてみました。
皆さんにとっても興味深いものとなれば幸いです。

近年人気急上昇中の(もしくは人気上昇していた)
競技かるたの世界を存分にお楽しみください。

本冊子は競技かるたのルール解説が主となっています。
オンラインでご覧の方はぜひ実際の競技の様子もご確認ください。
<https://www.youtube.com/channel/UCEwZBBInChaoXxt08tK7zAw>
(全日本かるた協会公式 youtube チャンネル)

第1部 競技かるたとは

① 小倉百人一首の成立

「百人一首」とは、100人の歌人の優れた歌を1首ずつ選んで100首にまとめたものです。小倉百人一首の歌を選んだのは藤原定家※1であると言われていいます。藤原定家が知人に依頼されて、京都の小倉山のふもとにある山荘のふすまの色紙形※2に百首の歌を書き付けたのが始まりで、『小倉百人一首』と呼ばれるようになったと伝えられています。



▲藤原定家

※1 藤原定家(1162-1241)…平安時代末期から鎌倉時代初期にかけての公家・歌人。晩年に百人一首の選歌を行った。

※2 色紙形…色紙の形をした紙。定家が小倉百人一首を書いたものは「小倉色紙」と呼ばれ、室町時代から戦国時代にかけて、これを茶室に飾ることが流行した。

② 小倉百人一首の内容

『小倉百人一首』は天智天皇(626-672)から順徳院(1197-1242)の時代までのおよそ600年間に読まれた歌から選ばれ、1番から100番までほぼ年代順に並んでいます。その100首はすべて、『古今集』、『後撰集』や、『新古今集』など、10の勅撰和歌集※3からえらばれたものです。100首のうちで、恋の歌は43首あり、季節では秋の歌が一番多く、16首選ばれています。

▼ジャンル別歌数一覧

ジャンル	春	夏	秋	冬	恋	その他	合計
歌数	6	4	16	6	43	25	100

※3 勅撰和歌集…天皇や上皇の命令でつくられた歌集。

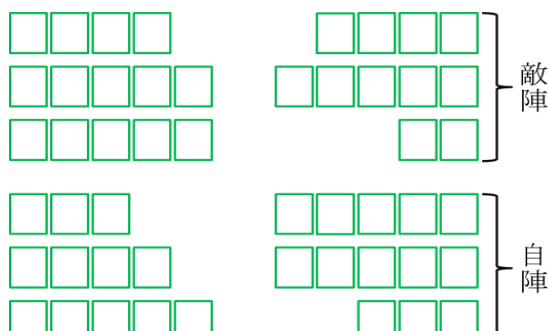
③ 「かるた」としての百人一首

百人一首は、古くは歌集として鑑賞されるものでしたが、歌集として以外にも、古典の教材や歌かるたを通して、広く親しまれてきました。競技かるたでは、上の句が読まれるのを聞いて下の句が書かれた取り札をとるので、100首全部の決まり字を知っていることを前提として競技が行われます。『小倉百人一首』を用いた競技かるたは、現在小学生から高齢者まで幅広い世代で楽しまれ、海外の競技者も増加中です。競技かるたの試合は長時間にわたることも多く、体力も要求されることから、「畳の上の格闘技」とも呼ばれます。

第2部 競技かるたの試合

① 札を並べる

まず、対戦者が互いに向かい合って札をします。次に、100枚の札から、試合で使用する札50枚を無作為に選び、対戦者はそれぞれ25枚ずつ札を取って、自分の陣地に並べます。このとき、対戦者は自分の陣地を「自陣」、相手の陣地を「相手陣」または「敵陣」といいます。札は各陣地内で左右に寄せて並べるのが基本です。



◀ 各陣地の左右幅は約87cm。自陣と相手陣の間は畳3目分空け、各陣地内で札を3段に分け、左右に寄せて並べます。

② 基本ルール

札を並べ終わったら、15分の**暗記時間**で対戦者は札の配置を暗記します。暗記時間終了2分前になると、**素振り**をすることが許されます。素振りをすることで、札の配置を体の動きとともに覚えることができます。暗記時間終了後は、対戦者は再び向かい合って札をし、読み手の方向にもう一度札をします。次に、「**序歌**」と呼ばれる歌が読まれます。序歌とは、試合開始時に読まれる、百人一首の中に無い歌です。一般的には

「難波津に 咲くやこの花 冬ごもり 今を春べと 咲くやこの花」

(全日本かるた協会の指定序歌)が読まれます。続いて百人一首の100枚の札が一度ずつ読まれますが、その中には対戦に使われない50枚の札も含まれており、これらを**空札**(からふだ)といいます。

対戦者は読み上げられる歌に対応する札を取ります。この際、競技かるたでは**自陣の札の枚数を先にゼロにした方が勝ち**となります。つまり、自陣の札を取ると自陣の札の枚数を1枚減らすことができ、相手陣の札を取った場合は相手陣から札が1枚減る分、その時点で自陣にあった札をどれか1枚送って自陣の札を1枚減らすことで勝ちに近づくのです。

競技かるたの試合を見ていると、選手は読まれた札以外にも、近くにある札も一緒に数枚払っていることがわかります。読まれた札以外にも触っていればお手つきではないか、と思われそうですが、競技かるたには

「読まれた札と同じ陣にある札は触ってもよい」

というルールがあります。例えば、読まれた札が自陣にあるとき、自陣の右側でも左側でも、自陣の札すべて触れたとしても、お手つきにはなりません。しかし、勢い余って同時にもう一方の陣にも触ってしまった場合はお手つきとしてペナルティが課せられます。

《お手つきのペナルティ 暗記があやふやだと...》

競技かるたの試合では、札の配置を誤って記憶していた場合や、対戦に使われていないが読み手が読む札(空札)に反応して、間違った札に触れてしまった場合、お手つきとされてしまいます。主に次の3つの状況があります。

(1) 詠まれた札が相手陣にあるのに、自陣の札に触れたとき

(2) 詠まれた札が自陣にあるのに、相手陣に触れたとき

(3) 詠まれた札が自/相手陣どちらにもないのに、どちらかの陣に触れたとき
いずれの状況でも、お手つきをした人にはペナルティとして、対戦相手から1枚札を送られます。つまり、お手つきをすると、自陣の札の枚数が1枚増える一方で、相手陣からは1枚札が減ります。その分勝ちが遠ざかってしまうのです。

③ 決まり字

決まり字とは、上の句(前半の五七五)を聴いて、下の句(後半の七七)が確実に取れる文字のことです。例えば、

(A) **ち**はやふる/かみよもきかず/たつたがは/からくれなゐに/みづくくるとは
という歌の決まり字を考えます。

「ち」から始まる歌は、(A)の他に

(B) ちぎり**お**きし/させもがつゆを/いのちにて/あはれことしの/あきもいぬめり

(C) ちぎり**き**な/かたみにそでを/しぼりつつ/すえのまつやま/なみこさじとは
の2首があり、「ち」の一文字を聴いただけでは、(A)以外にも(B)、(C)のいずれかを読んでいる可能性があります。2文字目の「**は**」まで聴くと、(A)以外に「**ちは**」で始まる歌はないので、(A)の歌が読まれているとわかり、(A)の下句である「からくれなゐに/みづくくるとは」と書かれた札を取りにいけることができます。つまり、(A)の歌の決まり字は「**ちは**」であり、このように決まり字が2字であることを「2字決まり」といいます。また、

(D) きみがため/**は**るののにいでて/わかなつむ/わがころもでに/ゆきはふりつつ

(E) きみがため/**を**しからざりし/いのちさへ/ながくもがなと/おもひけるかな
のように6字決まりの歌を「**大山札**」といい、決まり字の長い札が読まれた場合には、**囲い手**といって、札に触れずに手で囲い、相手にとられないようにする技を用いることがあります。決まり字まで読まれるのに時間がかかるので、読まれる可能性がある札は囲い手をして相手がとれないようにするのです。

第 3 部 競技かるた用語解説

【あ】

暗記時間

競技開始前に札の配置を覚える時間のこと。通常は札を並べてから 15 分間与えられる。暗記時間終了 2 分前になると、素振りをする事が許される。

運命戦

試合終盤に自陣・相手陣とも 1 枚だけ札が残った状態のこと。この状況では通常自陣の札を狙うことが推奨されており、自陣の札が読まれる方が有利であることから、「運命戦」と呼ばれる。

大山札

6 字決まりの札のこと。

送り札

敵陣の札を取ったり、相手が「おてつき」をしたりした際に相手に渡す札のこと。自陣にある札であればどれを送ってもよい。

押さえ手

文字通り、札を押さえるとり方。

お手つき

詠まれた札が場にないののに札に触ってしまうこと。

- ・詠まれた札が相手陣にあるのに、自陣に触れた場合
- ・詠まれた札が自陣にあるのに、相手陣に触れた場合
- ・詠まれた札が自陣、相手陣どちらにもないのに、どちらかの陣に触れた場合が該当し、お手つきをすると、ペナルティとして相手陣から 1 枚札を送られる。

【か】

囲い手

札を囲って、決まり字を聴いてから札をとること。相手に先に札に触られないように札を囲う。大山札などの決まり字が長い札に使われる。

空札

どちらの陣にも置かれていない札のこと。競技かるたでは対戦に使用する札を無作為に 50 枚選ぶため、残りは空札となる。

決まり字

上の句を聴いて、下の句の札が確実にとれる文字のこと。

競技線

札を配置できる範囲のこと。

挙手

競技中、払い手で乱れた札の整理などの途中で読み手に次の札読みを待ってもら

うために手を挙げておくこと。

【さ】

序歌

試合開始時に最初に読まれる、百人一首の中に無い歌。一般的には

「難波津に 咲くやこの花 冬ごもり 今を春べと 咲くやこの花」

(全日本かるた協会の指定序歌)が読まれる。

素振り

実際に手を動かして、札をとる動きを確認すること。自分と札との距離感をつかみ、札の配置を体の動きとともに覚えることができる。払い練習、略して払い連とも言う。

攻めがるた

敵陣の札を積極的に取りに行く戦法のこと。対義語は守りがるた。

【た】

読手(どくしゅ)

競技中に歌を読み上げる人のこと。読み手に同じ。

友札

「あきの」と「あきか」などのように、決まり字が途中まで同じである札のこと。同じ陣に揃っていれば決まり字が聞こえるより先に取りすることができる。違う陣にある場合は別れ札とも言い、決まり字まで待たなければならない。

【ま】

守りがるた

自陣の札を積極的に取る戦法のこと。対義語は攻めがるた。

【は】

払い手

文字通り札を払うとり方で、手を振り抜いて札を競技線の外へ飛ばすとり方。

【わ】

渡り手

自陣もしくは相手陣に、友札がわけて配置してある場合、素早く両方を取ることに

敵陣と自陣の友札を素早く取る両陣渡り手という技も存在する。 (本当はただのお手つきである)
--

第3部 かるた甲子園参戦記

先日、と言うにはだいぶ昔になりますが、全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会、通称「かるた甲子園」に参加しました。

その後、部員募集のための宣伝も兼ねて参戦記を会誌に投稿しましたが、せっかくなので(楽なので)ここに転載します。会誌を読んでもくれたという方は全部読み飛ばしてください。

会誌でも同様のことを書きましたが、何か期待して読んでおられる方がいたら申し訳ないので、先んじて釈明させていただきます。

全国大会と名前についていますが、全然凄いことではありません。競技かるたの人口は非常に少ないため、高校二年生以上であれば誰でも出場できる大会です。団体戦の場合はちゃんと地区予選がありますが我が部はあっさり敗北しました。開催地はかるたの聖地近江神宮であり、アクセス抜群。遠征感も全くありません。

7月21日。6時に起きてフルグラを食べて、06:42発の電車に間に合うように駅へ向かう。いつもの姫路行きの06:01発に比べると、かなり余裕があった。

いつもと違って静かな朝のホームを見ていると、少し非日常を感じて楽しくなる。まだみんな寝ているのかと謎の優越感を感じながら電車に乗る。初めて行く会場だったが、乗換は尼崎で一回あるだけなので不安はなかった。

座席に座ってイヤホンを取り出す。僕は普段イヤホンで音楽を聴くことなんて滅多にないけど、「試合の前は音楽を聴いています」ってなんだかカッコいいからという理由で大会の日の電車でだけはイヤホンを使う。聴いていたのはスピッツ。草野さんの歌声を聴いていると、落ち着いてかるたがとれそうな気がする。気がするだけで勝てるわけじゃないけど。

実際かるたの試合前はみんな何してるんだろうか。試合前に札流し(下の句を見てすぐに上の句を言う練習)とかをすると、試合中に記憶が混ざってお手つきしてしまう気がする。

会場のある膳所駅に近づくと、他校のかるたプレイヤーたちがちらほら入ってきた。みんなジャージやお揃いのTシャツを着ているから分かりやすい。やる気にあふれた様子を見ると、とても強そうで怖くなる。プリントされている学校名を見ると北海道から来ている人もいて、全国大会ってほんとに全国なんだと思わされた。ちなみに今のかるた班にはTシャツはない。作ろうかという話には何度かなったけど、毎回誰がどうするのか話がまとまらず流れてしまっている。



↑なんだかんだ作りました

膳所駅でもう一人と合流し、二人で会場の滋賀県立武道館へ向かう。今回大会に参加するのは、班員のうち8割にあたる四人だ。コロナ禍の開催と言うこともあり、一人は違う会場、一人は違う時間とかなりバラバラになっている。

過去に道に迷って開会式中に到着することになった反省を活かしてかなり早めの行動をしていたが、思った以上に道が分かりやすく早く着きすぎ、結果的に炎天下の会場の前で待たされることになった。その後無事に受付を済ませ、間隔を空けて座れと言うわりには数の足りない席の奪い合いを制し、開会式が始まった。ちょうどオリンピックの開会式のすぐ後だったので、開会式でそれと絡めた話がされるだろうと友達と賭けていたが、話は手短に済まされ賭けに負けてしまう。(もう既に北京五輪も終わっているが、東京五輪の話。時代遅れな話題である)

開会式が終わるとその後に運命の抽選タイムが始まる。個人戦のかるたの大会ではトーナメント表のようなものではなく、毎回対戦の直前に名前の書かれた紙を混ぜ組み合わせを決めるのである。ここで重要なのは誰と試合をするかではなく、試合をするかである。トーナメントの性質上、参加者は2のn乗人である必要があるが、ぴったりそうなることなど滅多にない。つまり、

一回戦は不戦勝が大量発生する。他の競技だと強者にシードとして与えられる特権を、かるたではそれすら抽選で決めてしまうのだ。

ということで一回戦不戦勝できたらいいなと普段は信じない神に祈っていたが願いは届かず、どこかの女子選手と戦うことになる。かるたプレイヤーの大半は女子で、僕は未だに他校の男子選手と戦ったことがない。(追記：11月の大会で1回男子選手と戦いました)

試合が始まるとまず札をして、50枚の札を裏向きに混ぜる。百人一首はその名の通り100枚あるが、一回の試合で使うのはそのうち50枚。残り50枚は空札となり、読まれてもスルーしなければならないのだ。

混ぜ終わった後25枚ずつ取り、並べはじめる。87cm×3段に札を配置していく(p.3参照)のだが、相手が先に87cmを腕で測ったので、僕はそれに合わせる形となり、開始早々相手のペースに乗せられているように感じてしまう。定位置と呼ばれるいつもどおりの場所に札を配置した後、15分の暗記時間を使って敵陣の配置を覚える。自陣はいつもと同じなので特別に覚える必要がないという考え方だ。相手は友札を斜めに絶妙に離して置くいやらしい配置で覚えるのに少し苦労した。

暗記時間が残り2分になると、払い練(札を払う練習)が許され、みんな払い練を始める。相手の払いを見ていると、力量差がなんとなく分かる。このときの僕の見立てだと、はるかに格上だった。まだ1枚も取れていないのに、もう負けたような気持ちになっていた。

暗記時間が終了し、札が読まれる。大切な一首目はあっさり取られてしまう。反応の速度も払いの練度も明らかに負けていて、やっぱり負けそうだと

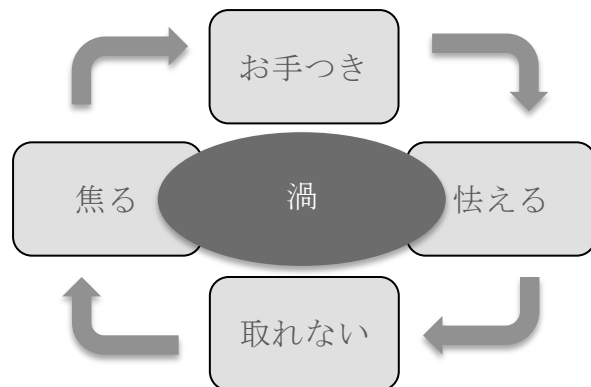
ぬ	て	わ	ふ	て	わ
れ	は	か	り	に	か
っ	っ	こ	っ	ゆ	こ
っ	ゆ	ろ	っ	き	ろ
	に	も		は	も

↑あきの きみがためを↑

思考がネガティブな方向に加速していく。その後もどんどん取られ、僕が3枚、相手は9枚とかなり差をつけられてしまう。そんな厳しい状況で読まれたのが「きみがためは」。相手は素早く僕の自陣にある札を払う。しかし払った札というのは「あきの」、下の句がよく似た違う札だ。「きみがためを」の隣

に置いていたため、勘違いして暗記してしまったのだろう。僕の意図していなかったトラップにひっかかり、相手はお手つきしてしまった。お手つきのペナルティとして、僕は1枚札を送る。1枚送るということは、片方が1枚減り、片方が1枚増え、結果として2枚差がつくことになる。こうして少し差を縮めることができた。

かるたというのは集中力が何よりも重要な競技である。もちろんどのスポーツも集中力は大切だが、かるたほど集中力の占めるウェイトの大きいものはなかなか無いだろう。そしてお手つきというのは精神的ダメージが大きい。特に札を間違えて暗記してしまうというのはなかなかレアで、ショックも計り知れない。何が起きたのかというと、相手の調子が明らかに落ちたのである。お手つきにおびえていると素早く手を伸ばすことができなくなり札を取られ、却って焦りすぎると精彩を欠きまたお手つきしてしまう。僕が勝手に「お手つきの渦」と呼んでいる現象に相手は陥ってしまったのだ。その結果、最終的に5枚差で勝つことができた。一回戦突破である。



試合が終わると札をして、札が読まれていない間にささっと受付に札を返し観客席まで戻る。もし札が読まれている間に動いて何か少しでも物音を立ててしまうと、札を最初から読みなおすことになるので、ものすごく居心地悪い状況になってしまうのだ。

観客席で一緒に来ていた部員を応援する。私語厳禁なのでもちろん心の中で。その試合はなかなか決着がつかず、運命戦までもつれこんでいた。読まれるのは自陣か敵陣か、ハラハラして見守るなか、自陣の札が読まれて運ゲ一を制した。



↑ @滋賀湖琵琶湖

こうして二人ともなんとか初戦を突破した。正直勝てるとは思っていなかったから、昼ご飯を買っていなかった。二回戦まで時間があるため、近くのコンビニへパンを買いに行き、琵琶湖畔で休憩する。湖風が気持ちよくて、琵琶県滋賀県に来ているのだと実感する。

休憩を終えて武道館に戻ると、時間のずらされたもう一つの一回戦が行われていた。部員も一人試合中だったので、立ちながら(席は奪われていた)応援する。彼も初戦を勝利することができたが、別会場で試合をしていた最後の一人から負けてしまったと連絡が届く。結果四人中三人が初戦を突破した。

時間が押しているようで、二回戦はその後すぐに始まった。

礼をして、札を混ぜて、並べて、覚える。一試合目とほとんど変わらないが、87cm を先に測ることができたため、少し優位に立てた気がする。払い練による強さ判定は、見た感じ互角ぐらいだった。

今度は一枚目を取ることができて、幸先の良いスタートを切った。そのまま中盤までやや優勢で試合は進んでいったが、勝ちが見え始めたころに悪い癖が出てきてしまった。悪い癖とは、計算してしまうことだ。テニスや卓球など〇点先取のスポーツをしている人は共感してくれるかもしれないが、勝ちが近づくとあとどれくらいのペースでいけば勝てるのかななどを考えてしまうのだ。何より集中が命であるからと、そうやって別のことに意識を向けてしまうとどうなるのか。集中が切れ、逆転負けをしてしまった。本当に悔しい。

世の中にはポジティブに考えると調子が出る人と、ネガティブに考えると調子が出る人がいて、恐らく僕は後者である。今回のテストやばいわって思っているときほど言い点数が取れるタイプなのだ。と自己分析をしたところで負けは負け。切り替えて他の二人を応援するも、みんな仲良く負けてしまった。

別会場の人とも合流し、帰ろうかと考えていると、かるた協会がバスを用意してくれていた。駅やホテルにも停まるが、近江神宮にも停まってくれるとのことで、予定を変更し四人で近江神宮へ行くことにする。

かるたが上手くなりますようにと神様に祈ったり、飾られた札の写真を撮ったり、ベンチに座って持ってきたお菓子を交換したり。試合の後のこういう時間が一番楽しい。本当に上を目指す人だったら悔しさでいっぱいなのはなんだろうけど。

近江神宮を堪能して、スーパーで買ったクーリッシュを食って、近江神宮前駅から家まで帰った。

スペースが余ったので、僕が一番好きな歌の解説を書きます。

84) 永らへばまたこの頃や偲ばれん 憂しと見し世ぞ今は恋しき

「偲ぶ」は「懐かしく思う」の意。活用が異なる「忍ぶ」は「身を隠す、我慢する」の意味で、全く別の言葉です。「憂し」は憂鬱の憂であることから想像がつくように、「辛い」の意味です。

それらを踏まえて訳を作ります。

この先長生きすれば、今この時代もまた懐かしく感じられるのだろうか。辛いと思っていたあの日々も、今となっては恋しい思い出となっているのだから。

会誌に投稿した際には、「僕達ならきつと、このコロナの時代を乗り越え、懐かしい思い出にになってしまうことができるでしょう。なんてったって僕達はあの大変な受験勉強を乗り越え、今や思い出の一つにすることができたのですから。」というクサイ文章で締めさせてもらいました。カッコつけすぎですが、正直お気に入りです。

受験勉強に限らず、辛いけど乗り越えた思い出というのは誰しもにあるでしょう。もしどうしてもなく辛いことがあれば、この歌と乗り越えた思い出が、気を少し楽にしてくれるかもしれません。



第4部 平安と平成の桜の歌

1 桜とは

はたしてこの章が必要なのかは甚だ疑問ですが、桜は知らない人などいない、日本人に最も愛されている花です。一つの植物の開花状況を気象庁の役員が調べて、桜前線などとしてニュースで流すのは、世界でも他に類を見ないでしょう。



↑ 近所の桜

奈良時代末期に成立した万葉集においては梅の花が人気でしたが、平安初期に国風文化※4にも後押しされた桜が梅を追い抜き、以来ずっと花界のトップに君臨し続けています。そのため和歌で単に「花」と言うと桜を意味します。

※4 国風文化…中国の影響をうけた唐風文化に対し、日本的な価値観を重視する文化。梅は飛鳥時代の末頃に遣唐使によって中国から伝わったのに対し、ヤマザクラは日本の固有種である。

2 桜の和歌

百人一首に収められた100首の和歌のうち、桜にまつわる歌は6首あります。春の歌は全部で6首しかないのだから、春の歌は全て桜を歌っているのかというところでもないわけでもありません。2ページで示したジャンル分けは和歌の一般的な分類法に即したものであり、和歌の主題が何であるかで分類されます。以下の二つの歌は桜に関する描写がありますが、春の歌ではなく雑ぞうの歌となります。

66) もろともにあはれと思え山桜 花より外に知る人もなし

共に愛おしく思い合おうよ、山桜。他に私を知る人などいないのだから。

96) 花さそふ嵐の庭の雪ならで ふりゆくものは我が身なりけり

花を誘う嵐の日の庭で雪のように降り散る桜ではなく、古く老いていくものは私自身なのだなあ。(ふりゆくは降りゆくと古りゆくの掛詞※5)

それぞれ孤独と老いが主題となっていて、前者は孤独を重ねて話しかける相手として、後者は衰えの喩えとして桜が登場しています。

※5 掛詞…同音異義を利用して1語に2つ以上の意味を持たせる技法。物質と心情・動作の2つを掛けることが多い。

桜の散る様を自らの衰えと重ねている歌といえば、世界三大美女の一人としても知られる小野小町の「はなの」の歌も似ています。

9) 花の色は移りにけりないたづらに 我が身世にふるながめせしまに

花の色は色褪せてしまった、長雨が降っている間に。私がむなしくこの世を過ごして物思いに耽っている間に。

さすが六歌仙にも選ばれた才女。降る/経る、長雨/眺め(古文では物思いに耽るという意味がある)という掛詞の技巧が目を見張ります。

表向きにはぼーっとしているうちに枯れてしまった桜を詠んでいるため春の歌に分類されていますが、その本質は先ほどの「はなさ」の歌に近く、衰えてゆく美貌を詠んだと考えられます。古文で「世」は男女間の仲も意味するため、実らずに散った恋の歌だと解釈するのもロマンチックで良いかもしれません。

残りの3首も一通り訳しておこうかと思います。

33) 久方の光のどけき春の日に しづ心なく花の散るらむ

日の光がのどかに射す春の日に、どうして桜は慌ただしく散るのだろうか。

61) いにしへの奈良の都の八重桜 けふ九重にほひぬるかな

古の奈良の都の八重桜が、今日は宮中で咲きほこっている。

73) 高砂の尾の上の桜咲きにけり 外山の霞たたずもあらなむ

高い山の山頂の桜が咲いた。近くの山はどうか霞を立てないでほしい。

かなり簡潔に訳したため、訳だけ見ているとあまり魅力が伝わらないかもしれませんが、「いに」の歌などはいにしへとけふの対比や、な→八重→九重というリズム感が抜群で子気味良い歌です。

ちなみに、「ひとは」の歌にも花という言葉は入っていますが、あれは例外的に梅の花を意味します。

3 桜ソング

さて唐突ですが、桜ソングと
いえば皆さんはどの曲を思い
浮かべるでしょうか。

「さくら さくら 今、咲き誇
る」だったり「さくら舞い散る
中に」だったり「咲く Love...」
だったり。八重桜が今の時代も
咲き続けるように、古の時代か
ら変わらずたくさんの桜の歌
が歌われています。

桜ソングについての情報は、
DAMの桜ソングランキングを参
考にしています。2017/3/1～
2018/2/28におけるタイトルに
桜あるいはチェリーブLOSS
ムが含まれる曲のリクエスト
ランキングとなっています。他
の多くの調査ではスピッツの
チェリーが上位にランクイン
していましたが、いちスピッ
ファンの意見としてあれば桜ソ
ングではないと思っているた
め、こちらのランキングを採用
しました。

被りを除いた 28 の桜ソング
について、その傾向を調べよう
と思います。

順位	曲名	歌手名
1	千本桜	WhiteFlame feat. 初音ミク
2	桜	コブクロ
3	桜坂	福山雅治
4	さくら	ケツメイシ
5	さくら(独唱)	森山直太朗
6	千本桜	和楽器バンド
7	夜桜お七	坂本冬美
8	SAKURA	いきものがかり
9	さくら	森山直太朗
10	人生夢桜	原田悠里
11	桜	河口恭吾
12	サクラ咲ケ	嵐
13	桜色舞うころ	中島美嘉
14	桜のあと(all quartets lead to the?)	UNISON SQUARE GARDEN
15	さくらガール	NEWS
16	同期の桜	軍歌・戦時歌謡
17	雪舞い桜	夏木綾子
18	冬桜	湯原昌幸
19	桜の時	aiko
20	薔薇のように咲いて 桜のように散って	松田聖子
21	桜花爛漫	KEYTALK
22	サクラミツツキ	SPYAIR
23	豆桜	城之内早苗
24	千島桜	鳥羽一郎
25	花は桜 君は美し	いきものがかり
26	チェリーブLOSS ム	松田聖子
27	夜桜	山川豊
28	今日もサクラ 舞う暁に	ChiCO with HoneyWorks
29	Sakura	嵐
30	ガチ桜	湘南乃風

まず目につくのは演歌の多さです。7/28 が演歌となっており、同年の DAM 全曲ランキングで 50 位以内に演歌が 4 曲しか入っていないことと比較すると非常に演歌の割合が高くなっています。やはり桜に和のイメージが強いからでしょうか。

演歌の他にも古い曲が多い気がしたのでそれぞれのリリース日について調べ、平均値を求めました。結果として、桜ソングの平均リリース日は 2005.8 年、ランキングトップ 50 の平均リリース日は 2005.5 年。カラオケの上位曲はその年流行った曲が多く、後者の方が新しくなるだろうと予想していたためとても意外です。ボーカロイド曲である千本桜をはじめ、新しい桜ソングが生まれ続けていることが証明できました。

どうでもいいことですが、銀魂の主題歌が 2 つもあるのが興味深いです。

周辺情報だけではなく、次は歌詞についても考えていきます。ここからは僕自身の主観で歌詞を解釈して書いていきますが、千本桜なんかは僕も意味があまりわかりません。有識者の方ご教授ください。

ラブソングは全体の半分強の 15 曲。ランキングトップ 50 曲のうち 36 曲がラブソングであることを考えると意外と控えめです。

全体の印象として悲恋の歌が多く、その一方で夢や希望を歌った前向きな歌も多くあります。特攻隊の命を桜に喻えた『同期の桜』や、受験を応援する『サクラ咲ケ』などもあり、時代によって桜がさまざまな事柄に喻えられていることが分かります。

さらに、それぞれの桜の持つイメージは何に由来するのかで分類したところ、「花開く様子」「桜の美しさ・たくましさ」「季節性」「散る様子」の 4 つに分類でき、それぞれ 8 曲、7 曲、7 曲、6 曲です。似たような悲恋の歌でも、桜を別れの季節の象徴として歌うパターンと、叶わぬ恋を散りゆく花に喩えるパターンとが存在する感じです。

「季節性」について、桜の季節が出会いや別れ、再出発のイメージを持っているのは、もちろん日本の年度が 4 月スタートで卒業や新生活の時期だからです。世界でも珍しい 4 月スタートですが、定着したのは明治初期。よっ

て平安時代にはそれらのイメージはなく、最近になって桜が獲得したイメージのようです。

和歌においては儂さや侘しさを表現した歌が多く、美しさを素直に詠む歌は多くありませんでした。それに対し、現代では桜は希望の溢れたポジティブな存在として扱われていることが比較的多いように感じます。現代の、特にカラオケで歌われるような場合では、明るい曲の方が好まれるのでしょう。

しかし、桜の散る儂さを表現した歌も依然として存在します。歌詞に「散る」という要素が入っている歌は 28 曲中 16 曲あり、桜とは切っても切り離せない縁語のような関係です。僕たちが桜前線のニュースに注目し、桜に恋い焦がれるのは、やはり桜が永遠でない存在だからなのでしょう。

百人一首は今から遠く離れた過去の歌ですが、心はいつの世も変わりません。人々は同じように桜を美しいと思い、同じように恋をします。ということで、恋の歌について余ったスペースで紹介します。

43) 逢ひ見てののちの心にくらぶれば 昔はものを思はざりけり

恋多き男、権中納言敦忠の、募る恋心を詠んだ歌です。「逢ふ」は単に会う、顔を合わせるの意味でも使いますが、古文では男女が逢瀬を遂げる、すなわちデートするの意味でも多く使われます。

他はおおよそ現代語と変わらないので雰囲気を感じて訳しましょう。



逢瀬を遂げた後の恋する気持ちと比べたら、逢う前の私の思いなんて無いようなものだなあ。

初めは会うだけでいい、少しでも話せたらそれでいい、なんて思っているけど、望みが叶えば叶うほど、恋する気持ちが溢れてもっと近づきたくなる。今も昔も変わらぬ恋の気持ちが詠まれています。

当時の恋愛はまず文を送り合うことから始まるため、手紙越しに恋をしていたけど、実物に会うと今までの想いが大したことないと思えるくらい恋に落ちた歌だとも解釈できます。現在だと「ネット恋」的なやつでしょうか。

お わ り に

ここまでお読みいただき本当にありがとうございます。

修学旅行出発前夜に睡眠時間を削りながら書いていたのですが、

Excel を開いて平均値などを求めているときは、
レポートでも書いているのだろうかと錯覚してしまいました。

その後ミスでデータを消してしまったりして
ほんといろいろ大変でした。

本冊子を読んだことを機に、競技かるたや百人一首に
少しでも興味や関心を持っていただけたら幸いです。

引き続き灘高文化祭をお楽しみください。

参考文献・URL

- ・ カラー 小倉百人一首 二訂版 京都書房
- ・ 新訂国語総覧〈第七版〉 京都書房
- ・ Wikipedia
- ・ かるたらいふ
<https://karutalife.sakura.ne.jp>
- ・ 百人一首工房
<http://100poem.web.fc2.com>
- ・ DAM 公式サイト
<https://www.clubdam.com>